

十和田湖の生態系とヒメマス

十和田湖は複数の火山噴火から生まれた二重カルデラ湖です。特有の自然環境と野生生物が評価され、国の特別天然記念物に指定されています。また、その高い学術的価値から、十和田八幡平国立公園内で特別地域として保護されています。

かつて十和田湖には食用魚がいませんでした。20 世紀はじめ、和井内貞行という男性が、地元民に新鮮な魚を食べさせることを夢見ていました。コイやマスを養殖する試みは上手くいきませんでした。1905 年、和井内はついにヒメマスの繁殖に成功しました。この地には 1906 年に建てられた和井内ふ化場の跡地が残っています。和井内による養殖は湖畔に暮らす人たちの生活を支えていました。隣で操業するふ化場は、今日も当時の伝統を伝えています。

コカニーサーモンとしても知られるヒメマスは、もともと淡水湖や川で繁殖するベニザケでした。成魚は海で生活します。その後進化して生涯を淡水で過ごすようになりました。4 年で成魚まで育ち、約 25 センチメートルまで成長します。